



社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも  
ご寄付のお願い

社会福祉法人となっても、その財源は今までと何も変わらない現実です。皆様からの寄付は現在行っている社会福祉事業に役立てさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。なお、「とも」への寄付は、以下の税制上の優遇措置があります。

- ◆個人の方は、所得税に係る「寄付金控除の対象」になっています。
- ◆法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で損金の額に算入することができます。
- ◆相続や遺贈によって受けた財産を寄付した場合は、その分は相続税の対象外となります。

寄付金 京葉銀行 新浦安支店 普通口座 5429331  
振込先 口座名義：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも  
理事長 西田良枝

ご利用案内

【個別のケアサービス】

- ◆パーソナルケアセンター  
障害福祉サービス(居宅介護・重度訪問介護・行動援護)  
介護保険サービス(訪問介護・介護予防訪問介護)  
移動支援事業・浦安市通院ヘルプサービス事業  
パーソナルケアサービス(制度外の支援)  
介護保険外生活支援サービス

◆パーソナル・アシスタンスとも居宅介護支援事業所【休止中】

【緊急時の宿泊も可能な支援】

- ◆浦安市障がい者等一時ケアセンター事業(指定管理者)

【子どもの発達支援】

- ◆障害児通所支援事業所ふあり(児童発達支援/放課後等デイサービス)
- ◆障害児通所支援事業所 マリーナ(児童発達支援/放課後等デイサービス)

【日中一時支援事業】

- ◆マリーナテラス ◆日中一時支援事業所 とも

【様々な療育事業】

- ◆イルカスイミングクラブ ◆ダンスクラブ ◆療育・手づくりパン教室
- ◆造形教室 ◆音楽療法 ◆ムーブメント療育 ◆卓球教室

【日中活動・就労・機能訓練・余暇等の支援】

- ◆浦安市斎場内売店運営
- ◆就労継続支援B型事業所とも  
キッチンカフェほっぷ運営  
カフェテラスゆう(浦安市老人福祉センター内カフェ)運営
- ◆浦安市身体障がい者福祉センター事業(指定管理者)

【訪問看護事業】

- ◆訪問看護ステーションとも

【生活支援のための相談】

- ◆「浦安市基幹相談支援センター」(浦安市より受託)・指定一般相談支援事業(千葉県指定)・指定特定相談支援事業(浦安市指定)・指定障害児相談支援事業(浦安市指定)
- ◆「相談支援事業所ふあり」指定特定相談支援事業(浦安市指定)・指定障害児相談支援事業(浦安市指定)

【福祉機器等の貸与・販売】

- ◆福祉用具のレンタルや販売、日生具、補装具など【休止中】

●連絡先のご案内	事業名	電話番号	メールアドレス
●パーソナル・アシスタンス とも		047-304-8808	tomo@patomo.jp
●パーソナル・アシスタンス とも(予約専用)		047-304-8811	
●障害児通所支援事業所ふあり		047-304-8860	tomo-huali1@patomo.jp
●障害児通所支援事業所マリーナ		047-304-8815	
●相談支援事業所ふあり		047-304-8860	tomo-huali2@patomo.jp
●日中一時支援事業所 マリーナテラス		047-304-8815	
●日中一時支援事業所 とも		047-304-8810	
●キッチンカフェほっぷ		047-304-8820	
●浦安市基幹相談支援センター(相談窓口)		047-304-8822	tomo-soudan3@patomo.jp
●浦安市障がい者等一時ケアセンター		047-350-8771	
●浦安市身体障がい者福祉センター		047-355-2734	
●訪問看護ステーションとも		03-5659-2100	
●パーソナル・アシスタンスとも 福祉用具貸与販売事業所		070-5561-8808	

**ボランティア**  
◆療育に関わるボランティア イルカスイミングクラブ、生活塾、療育・手づくりパン教室、造形教室、音楽療法、ムーブメント療育、卓球教室のサポート  
◆フリマ、イベント、ケアルームのおもちゃ消毒などのお手伝い  
◆PR活動：レイアウトやデザインが得意な人

FAX 番号 ..... 047-304-8821

ホームページ ..... www.patomo.jp

編集人：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも  
〒279-0022 千葉県浦安市今川1-14-52  
<編集後記>  
マスクの夏を3回も過ごすとは思っていませんでしたが、すっかり体の一部のようになってしまいましたね。来年の夏はマスクのないみんなの笑顔を見られるといいな、涼しさが増す日々の中でみんな風邪をひかないといいな、と願っています。 [S]

パーソナル・アシスタンス  
とも通信

いっしょに生きる  
楽しく生きる

「とも」と一緒に考える

「自立支援～自分らしく暮らすということ」

「とも」では毎年3月末に「事業報告会」を行っています。法人全体の取り組みや次年度の方針を共有し、各事業部からは一年間、利用者さんにどのような支援を理念に沿って行ってきたのかを事例を用いて発表する形を取っています。

この事例発表という形式を始めた当初から、利用者さん及び保護者の皆様にもぜひ参加していただきたいという思いがありましたが、なかなか実現させることが出来ず、ようやく今年9月に実践報告と相談会を実現することができました。

機会がある度に繰り返し述べてきましたが、福祉サービスは支援を受ける方々と支援を提供する人達、それぞれが車の両輪のように一緒になって進んでいくものと考えています。今は福祉サービスを利用する側と、福祉サービスを提供する側、という表現のほうがフィットするのかもしれませんが、利用する側と提供する側ということ、それぞれが別の立場にはっきりと分かれてしまう印象を持ちます。「とも」では立場は異なっても、利用者さん及び保護者の方と、支援者である私たちは一緒により良い支援を創っていく関係と考えています。

支援は当事者それぞれのニーズから始まり、支援をする側がその想いに寄り添いながら、相互の関係性と理解のもとに提供されるものであると考えるからです。

そのような意味からも、主に「とも」のサービスをご利用くださる方々には、私たちがどのような意図や想いをもってサービスを提供しているかを共有していただきたいと思っています。また具体的な支援の内容を確認していただくことで、自分の将来や今のニーズに生かせるサービスを見つけるきっかけになってほしいとも思います。



今回はご来場された利用者さんが少なく残念でしたが、次回以降は出来るだけ多くの方に「報告会」の事をお知らせし、参加して頂けるように努めてまいります。より良い支援を一緒に創っていくために、利用者の方にはご自身の使っているサービスや、支援をしている法人の理念や実践に関心を持っていただき、ぜひ忌憚のないご意見を頂ければと願っています。

以下、参加者からのアンケートの抜粋です。

・年齢や障がいによってもいろいろな支援があるんですね。これから自分のためにもうまく関わっていきたいです。

・各事業所の事例、支援の流れはとても参考になるものでした。これから自分にも起こり得る問題としてメモを取りながら見させていただきました。あてはめる支援ではなく本人が必要とする支援という言葉にとっても納得しました。自分の娘の例もでてきて改めて感謝の思いを持ちながら見させていただきました。

・就労支援のことなど聞いてよかったです。

・いろいろな事例が聞いてとてもわかりやすかったです。大人になってからも利用できるサービスが充実しているので、少し心が軽くなりました。

西田良枝

## ともを支えるスタッフに聞いてみました Q&A



部署・所属 **パーソナルケアセンター** 入職**10**年目 **O.K**さん

**Q1.** 利用者さんの支援をする中で、心が動いた出来事を教えてください。

自閉症の20代の男性利用者さんが、ケア中にいつも楽しげに口ずさんでいる歌がありました。ある日思い当たる歌に急に気がつき、「もしかしたら、この歌？」と歌ってみたところ、「それ、それ！」と嬉しそうな表情で肩を叩いてくれて、初めて彼と共感し合えたように感じました。

**Q2.** ともの同僚や上司からもらった印象に残っている言葉を教えてください。

パーソナルケアセンターに入職して直ぐに、当時の先輩から「相手の話を色々な手段を使って聞きなさい。そして、わかったのなら、わかったことをキチンと相手に伝えなさい。」という言葉いただきました。今でも一番心に残り、実践を心がけていることです。

**Q3.** 小さいときになりたかったものは何ですか？

仮面ライダー 藤岡弘さんにあこがれましたね。

**Q4.** 仕事以外での日々の楽しみは何ですか？

映画鑑賞です。一番最近観たのは、『トップガン・マーヴェリック』です。前作を高校時代という多感な時に観て、その続編に期待をし過ぎてオープニングから涙してしまいました。



部署・所属 **浦安障がい者福祉センター 作業療法士** 入職**3**年目 **S.M**さん

**Q1.** 利用者さんの支援をする中で、心が動いた出来事を教えてください。

「週1回ここに来てリハビリを受けながら杉山さんと話す事が楽しみなんだあ」と笑顔で言ってくれた方がいらっしゃいました。身体のリハビリだけでなく、心にも良い影響がある支援を提供できているのかなと嬉しく思いました。一人でも多くの利用者さんを笑顔にしていきたいです。

**Q2.** ともの同僚や上司からもらった印象に残っている言葉を教えてください。

「何の為にこの組織があるか？と考える欲しい。意見が違ったら話し合う。そして法人の理念に近づける」という代表の言葉が印象に残っています。その言葉を胸に刻み、多職種が情報共有する事で、サービスの質を向上させ、法人理念の実践につながると考えてひとりよがりな支援にならないように心がけています。

**Q3.** 小さいときになりたかったものは何ですか？

「作業療法士」です。私は幼少期リハビリを受けた経験があり、担当の作業療法士の先生が優しかったからです。

**Q4.** 仕事以外での日々の楽しみは何ですか？

旦那さんと千葉県はもちろん他県へキャンプに行く事です。各県の特産品を購入して食するのが楽しみです。



## 図書館で西田職員の本がクローズアップされました！



西田さんの本がクローズアップされたのは、長野県にある下諏訪町立図書館の「今月(8～9月)のテーマブック」と銘打った、司書さんが一押しの本を選ぶ特集コーナー。ここでは「自分の『やりたいこと』って何ですか？」という言葉とともに、司書の方々がテーマにあった本を厳選しています。西田江里職員が自分の障がいを通して感じてきた事や、努力してきた姿が描かれた本書からは、障がいのある人にもない人にも、生きる上でのヒントがきっと見つかると思います。沢山の本の中から取り上げて頂き感謝です。

## 西田職員が駒澤大学で講演をしました！

2022年7月3日、西田江里職員が交流のある駒澤大学 総合教育研究部 教職課程部門 遠藤司教授から、教師を目指す学生に西田さんの生活や理想とする教師の姿などを伝えてほしいと依頼があり、当日視聴・録画視聴合わせて30人の学生に向けてオンラインで講義をいたしました。西田さんが昨年出版した「だって、生まれたんだもん」をベースに、これまでの生活や成長、仕事のことなどを話しました。

### \*学生の感想(一部抜粋)

- ・「(教師になったら)生徒ひとりひとりの夢を支えてほしい」という言葉が印象的でした。
- ・生きていく上で大切にされていることは「笑顔と元気」で、その理由も江里さんが笑顔だと周りの人も笑顔になるからだと言っていたことが印象に残りました。
- ・一人暮らしをされていたり、旅行やお買い物でいろいろな場所に行かれたり自分が思っていたよりも行動範囲が広がって驚きました。
- ・こうして障害のある方の話をじっくり聞くという機会が今までなかったので、とても貴重な経験をさせていただきました。



だって、  
生まれ  
たんだもん



### \*西田江里さんの感想

講義では私のことをたくさん話しました。私の話を聞いてくれた学生さんからは、初めて知ったことが多かったとか、私の話をこれからの生活に役立てたいなどいろんな反応をもらえました。それを聞いて、私にまたひとつ夢ができました。それは自分で講演会を開くことです。障害のある人が地域で生きていける助けになるように、講演会でもっといろんな人に伝えたいと思っています。

## 「とも合同外出」に行ってきました!!

前号でお知らせしたとおり、7月9日コロナ感染対策を最大限に行い、パーソナルケアセンター、障害児通所支援事業所マリーナ、日中一時支援事業所との多様な利用者さんが航空科学博物館へ行ってきました!

行きのバスの中からわくわくが抑えきれない参加者の皆さん。

現地では本物の飛行機の離発着を間近で体感し、野外展示でもかつて空で活躍した飛行機に触れたり、旅客機の座席に座ってみたりと貴重な体験ができました。また、事業所や年齢の壁を越えて仲良く話す場面も見られ、合同外出の醍醐味をしっかりと味わえたイベントとなりました。

